

こっちゃん子

第12回

認知症サポーター養成講座

河内小学校 教頭 竹林 正則

3年生対象に三和地域包括支援センターの方に、「認知症ってなあに?」の授業をしていただきました。授業のねらいは、「認知症が、どんな病気か知る。」「認知症の人の気持ちを理解し、どのように接したらよいかを学ぶ。」「の2つです。まず、認知症は、歳を取るとかかりやすい脳の病気であることを学びました。脳の働きが悪くなる病気で、物事を忘れてたり、新しい出来事を覚えられなくなってしまう。3年生でも分かりやすいように、脳の図や、絵を使って分かりやすく教えていただきました。後半は、「バアちゃんの世界」という動画を見て、認知症になった人の気持ちになつて考えました。認知症の人への関わりで大事なことを3つを教えてくださいました。①おどろかせない。②急がせない。③気持ちを傷つけない。この3つです。

授業を終えて、子どもたちは、「認知症の病気がことがわかりました。こわい病気だと思いませんでした。」「認知症の人がいたらゆつくりと話してあげたいと思いました。」「頭の中にこんなにたくさん働きのあったとはびっくりしました。脳は大切なんだと思いました。」「ぼくは、認知症の事を

知って認知症になっている人を助けて喜ばれたいです。」という感想をもちました。

1時間の授業でしたが、3年生なりに認知症について知ることができ、認知症の人がいたら助けてあげたいという気持ちになつて考えることができていました。最後に認知症サポーターとしてオレンジリングをいただきました。



先生「両手を出して、軽くグーしてください。これを合わせてください。それが、みなさんの脳の大きさです」と説明を受け、児童が「えー!」「ちっちゃい」と驚いているところ。

『河内ウォーキングマップ』をもとに

第2回

河内地区健康ウォーキング

日時 3月17日(日) 9時半〜12時

集合場所 河内公民館

講師 健康運動指導士 玉川真弓氏

内容 ストレッチ体操とウォーキング

↓中郷コース+古野コース(約4km)

坂道の多い道を歩く健脚向けのコースです。雨天の場合は、室内でウォーキング講座(お話)を行います。

申込先 各町内会・公民館



行事

- 4日(月) 売却資源「ミ」収集日
- 8日(金) まごころ弁当
- 16日(土) 社協理事會・会報委員会
- 18日(月) 売却資源「ミ」収集日
- 19日(火) 野登呂体操教室 13時半〜
- 22日(金) まごころ弁当
- 編集会議
- 4月26日(金) 社協総会



SALON

- ◇転倒予防教室 in 魚切
5日・19日・26日
10時〜11時30分 魚切集会所
- ◇ほつと下城
6日・13日・20日・27日
10時〜11時30分 下城集会所
- ◇かい&とつきーの体操教室
4日・11日・18日・25日
13時30分〜15時
あかり園地域交流スペース
- ◇オープンサロン窓山
1日・8日・15日・22日・29日
10時〜15時(時間自由)
老人憩の家 窓山荘
- ◇いきいきサロン
15日(金) 老人憩の家 窓山荘
- ◇荒谷サロン
13日(水) 10時〜12時
下河内集会所
- ◇ほつとサロン
月・金曜日午前中 公民館



私の思い

公民館の目的とは?

早いもので公民館に赴任して1年が経とうとしている。

日々過ごす中、思い続けていることは「公民館の目的とは何ぞや?」ということである。

社会教育法第20条には、公民館の目的は「市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」と難しいことを掲げている。

この難題を遂行するために「自分は何ができるのか?何をすべきか?」と自問自答を繰り返しているが、未だ結論は出ない。

哲学的なことばかり思い続けても仕方がない。そこで、公民館の業務は「住民目線に立ち、できることは何でも行うこと」と勝手に解釈し、①公民館を学び・憩う場所として気軽に利用していただく②間違いない情報発信を行うという二点を目標に、来館される皆様の笑顔を楽しみに業務を行っている毎日である。

河内公民館 館長 菅原 裕